

冬一四裏

其比西行か訪に京中の哥仙たち集まり
て一品經書写してとむらひけり

右此四卷畫図者海田宋女佑源相保所筆
也段々文字の愚翁書寫

明應龍集「庚申」上湯月中院日

槐下栞門在判

寶永五「戌子」孟春中旬

雫下書肆林正五郎開板